

■ 2025年度 入試問題分析シート ■

京都大学

前期日程

科目

数学(理系)

総括

難易度(昨年比)

難化

昨年並

易化

分量(昨年比)

増加

昨年並

減少

<総論>

整数、微分、積分、空間図形、確率といった従来の京大らしい分野からの出題であった。昨年度よりも手が動きやすい・方針が立てやすい問題が増えてやや易化した。

医学部医学科以外であれば、**1**と**3**を完答し、**5**で（細かい議論はできなくとも）双曲線の方程式を導くところまでできれば及第点であろう。**3**は3の剰余に注目することができないと取り付く島もなかったかもしれない。**4**の(1)で点Pがただ一つであることの証明が難しかったかもしれないが、それができなくとも(2)はできる。これらの問題の出来具合が医学部医学科の合否を決めたかもしれない。

<特記事項・トピックス>

- 1**が小問構成の出題であった。
- 1**と**5**に三角関数が登場する問題が出題された。
- 1**と**3**は計算問題であった。
- 4**は(1)の方が(2)よりも難しい。
- 1**、**3**、**4**、**5**が数学ⅢCからの出題であった。

<合格への学習対策>

図形、整数・整式、確率、数Ⅲの微分積分は頻出である。誘導のない問題も出題されるので、日頃の学習において、分野の選択、変数の設定、誘導の意味や目的を分析することを心がけるとよい。

設問ごとの分析

問題番号	出題形式	範囲	分野・テーマ	特徴(内容分析・解答上のポイント)	問題レベル
1 問1	記述	C	複素数平面	複素数の絶対値の最大・最小	易
問2	記述	Ⅲ	積分	定積分の計算	やや易
2	記述	A	整数	条件をみたます正の整数の最小値	やや難
3	記述	Ⅲ	微分	直線のx切片の取りうる値の範囲	やや易
4	記述	C	ベクトル	平面がつねに通る定点が1つだけ存在することの証明と、四面体の体積比	やや難
5	記述	C	空間座標・2次曲線	空間における直線とxy平面の交点の描く軌跡	標準
6	記述	AB	確率・漸化式	n回の硬貨投げにより定まる Y_n が奇数である確率	難

「問題レベル」は、本大学・学部を志望している受験生の入試レベルを基準に、問題の難易度を5段階〔難・やや難・標準・やや易・易〕で判断しています。昨年対比ではありませんので、総括の難易度(昨年比)とは連動しません。